

むささび

第6号

平成17年6月1日発行

北信州森林組合

〒389-2255 飯山市大字静間383-14
TEL:0269-62-8111 FAX:0269-62-6611
URL <http://www.iiyama-catv.ne.jp/k-forest/>
E-mail k-forest@iiyama-catv.ne.jp



第4回 北信州森林組合通常総代会開催 中野市豊田文化センターにて

もくじ

新・旧組合長あいさつ……………	2
第4回通常総代会開催……………	3
平成16年度 決算報告……………	4
平成17年度 事業計画……………	5
組合からのお知らせ……………	7
編集後記……………	8

北信州森林組合 ガイドマップ



編集後記

- 総代会も第4回を迎え、機構改革により飯山支所を本所に併設。組合合併以来初の市村合併により、豊田村が新中野市に。
- 益々厳しさがますますなか、節約等に頑張っているが、先の見えない状況は、いつになったら変わるのか。
- 透明性と公平性を求めた入札制度の導入は、林業業者には、不公平な保険制度等で厳しい状況が続く。
- 昨年度は年1回の発行となりましたが、今年度は年2回の発行を計画しております。



古紙100%再生紙を使用しています

●新組合長就任あいさつ

北信州森林組合代表理事組合長 森 昭和



組合員の皆様におかれましては、農繁期を迎えられ何かと多忙な日々をお過ごしのことと拝察申しあげます。

北信州森林組合も平成十三年十二月合併以来早くも四年目を迎えることになり、その間組合員皆様方の少なからぬご支援、ご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

今年任期満了に伴う役員改選の年度の当たり、この件について理事會が開催されました。席上多数の皆様方の御推挙により当組合長に選任され、その重責を痛感しております。

今日の森林経営は国内産の木材消費の減退もあって、その価格の低迷が続く、組合を取りまく情勢は依然と厳しいものがあります。

●旧組合長退任のごあいさつ

前組合長 小山 邦武



北信州森林組合が、多くの皆様のご努力により誕生して早くも三年半経過いたしました。

平成二年頃から検討をはじめ、凡そ十年の歳月をかけ、呱呱の声をあげました。その後の森林組合を取りまく情勢の変化は、皆様承知の通りであります。

政界、経済界、マスコミを問わず、国をあげて森林の大切さ、林業の活性化が声高に叫ばれている割に、掛け声倒れに終わっているのが現実です。森林整備は財政の裏付けがどうしても必要です。この点、是非組合員の皆様にも声をあげて頂きたいと思っております。



合併以来、大変苦しい経営を余儀なくされてきましたが、皆様で役員をはじめ組合員の皆様を支えられて、何とか任期を全うし、新執行部にバトンをお渡しすることが出来ました。心から感謝申し上げます。

幸い、当組合は経験豊富な職員により、この地域の森林整備には多少貢献することが出来ているものと自負しております。

おわりに、森組合長のリーダーシップのもと、北信州森林組合が益々発展されますことをお祈り申しあげ、退任の挨拶とします。

第4回通常総代会開催される



去る四月二〇日平成十七年度第四回通常総代会が中野市豊田文化センター(旧豊田村民会館)にて、来賓の皆様と総代(委任出席含む)百四十三名の出席のもと開催されました。小山組合長の挨拶のあと、議長に高野福一郎氏を選出し議事に移り、平成一七年度事業報告、平成一七年度事業計画他一〇号議案まですべて原案どおり満場一致で可決され、来賓の方々よりありがたいご祝辞をいただき、盛会のうちに閉会となりました。

役員改選行われる

去る、四月二〇日開催の通常総代会において役員改選が行われ、今回より定数六減となり満場一致で十八名の方が選任されました。五月十一日開催の理事会及び監事会で左記のとおり就任しました。(任期は平成二十年四月、通常総代会終了時まで)

- 代表理事組合長 森 昭和 (木島平)
副組合長 竹節 邦男 (山ノ内町)
代表監事 山田吉太郎 (飯山)
総務委員長 原 修一郎 (中野)
副委員長 高橋 善造 (野沢)
委員 高橋 善造 (野沢)
山本 茂樹 (飯山)
中山 稿一 (山ノ内)
山崎 桂二 (山ノ内)
高森 寿美夫 (木島平)
石川 幹雄 (飯山)
坂井 昭男 (飯山)
村田 宗之 (豊田)
富井 喜義 (野沢)
山田 潤一郎 (中野)
高橋 剛太郎 (豊田)
北沢 弥紀男 (山ノ内)
本山 剛史 (木島平)
竹田 剛史 (飯山)
斉藤 虎雄 (野沢)
監事 嶋田 晴男 (中野)

- 参事 嶋田 喜一
総務課 課長 嶋田 喜一 (兼)
係長 和田 頼明
横沢とみ子
野竹 重範
業務課 課長 小林 正治
主任 田中 忠
小澤 雅子
中野支所 支所長代理 田中 忠 (兼)
布施谷 孝
小林 里江
山ノ内支所 支所長 土屋 隆
牧 里佳
木島平支所 支所長 土屋 寛
小出 幸子
野沢温泉支所 支所長代理 滝沢 良一
河野 明美
飯山支所 支所長 和田 頼明 (兼)
宮嶋 祐輝
小澤 雅子 (兼)
豊田支所 支所長 小林 正治 (兼)
小坂美津子

人事異動

三月三十一日付退職
田中 洋子 (木島平支所)

四月一日付異動

業務課主事 兼飯山支所 小澤 雅子 (業務課主事)
木島平支所 小出 幸子 (飯山支所)

平成十七年度 賦課金徴収のお知らせ

本年度の賦課金徴収額が総代会にて決定しました。本年度も、前年度と同様に平均一五〇円、面積一〇アール当たり二〇円です。八月三十一日までに収めていただくよう、お願いいたします。

平成17年度事業計画

1 運営の基本方針

総括	<p>昨年10月に、森林の多面的機能の持続的発揮を目指した森林整備及び保全、県産材の有効利用、森林資源及び森林空間の総合的かつ多面的な利活用を基本方針とした「長野県ふるさとの森林づくり条例」が公布されました。また、今年の2月には温暖化防止を目的に環境基準を定めた京都議定書が発行され、森林の二酸化炭素吸収にも国内外を問わず関心が高まっております。</p> <p>森林組合と致しましても、地域森林づくりの担い手としてその経験と知識を生かし、北信州の森林の保全と資源の有効活用を図り、組合員の皆様と共に地域活性化に貢献できる組合づくりと、組合の健全経営に努めて参りますので、組合員の皆様並びに関係指導機関のなご一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
指導部門	<p>1. 組合員の負担に応えるべく、地区懇談会、広報誌、ホームページを活用し、組合員との連携強化、森林整備の各種補助事業等情報伝達の充実に努めます。</p> <p>2. 事業量確保のため、各種資格取得を進めます。</p> <p>3. 新規起業のため研究を進めます。</p> <p style="text-align: right;">収益 6,900千円 費用 3,000千円</p>
販売部門	<p>1. 昨年導入した高性能林業機械を利用し、生産間伐を進め資源の有効活用に努めます。</p> <p>2. 物産センター経営については、消費的経営の節減に努め健全経営を図ります。</p> <p style="text-align: right;">収益 52,330千円 費用 49,510千円</p>
購買部門	<p>1. 地域特産の原木なめこ等栽培の生産指導と生産拡大に努めます。</p> <p>2. 炭・木酢液の販売について、生産者と連携を取りながら販売を進めます。</p> <p>3. 林業活動に必要な機械、資材の斡旋を進めます。</p> <p>4. 各種イベントに積極的に参加いたします。</p> <p style="text-align: right;">収益 16,050千円 費用 13,580千円</p>
利用部門	<p>1. 施業団地化を図り、各補助事業を利用した森林整備を積極的に推進し、かつ事業負担額の低減に努めます。</p> <p>2. 県及び市町村発注事業に対応できるよう更に事業費の見直しと、機関造林の事業量確保に努めます。</p> <p>3. 労災事故ゼロを目指し、安全意識の高揚に努めます。</p> <p>4. 技能職員の通年雇用を図るため、冬季事業の積極的な受注に努めます。</p> <p style="text-align: right;">収益 392,230千円 費用 292,140千円</p>
金融部門	<p>1. 組合員の林業経営に必要とする制度資金・系統資金の迅速な対応に努めます。</p> <p style="text-align: right;">収益 30千円 費用 20千円</p>
管理部門	<p>1. 経営資源である人材の育成と、組合員から信頼される職員としての意識改革と、資源の向上につとめます。</p> <p>2. 資産・資金管理の万全を期し、効率的な運用に努めます。</p> <p style="text-align: right;">総収益 467,540千円 事業利益 109,300千円 総費用 358,240千円 事業管理費 105,980千円 税引前純利益 1,650千円</p>



搬出間伐の現場で作業中

昨年度、当組合にも高性能林業機械（スイングヤーダ）が導入されました。

高性能林業機械導入



最大直径30cmまでOK!

オペレータ付にて何処へでも出張いたします。是非ご用命ください。

木材破砕機

事業総利益表 (千円)

収益	484,202
費用	370,426
事業総利益	113,776
事業管理費	110,694
事業外損益	-1,881
特別損益	258
税引き前当期純利益	1,459
法人税及び住民税額	895
当期剰余金	564
前期繰越剰余金	19,831
当期末処分剰余金	20,395
次期繰越剰余金	16,395

部門別損益表 (千円)

収益	(千円)
1 指導部門	7,612
2 販売部門	54,523
3 購買部門	19,543
4 利用部門	402,494
5 金融部門	30
計	484,202
費用	(千円)
1 指導部門	2,525
2 販売部門	49,635
3 購買部門	16,398
4 利用部門	301,858
5 金融部門	11
計	370,427

今日の森林林業については、木材消費の減退、国産材消費の伸び悩みによる木材価格の低迷が続いております。一方、森林に対する国民の期待は生活環境の保全、二酸化炭素吸収による温暖化防止又教育の場としての利用等、多面にわたる機能発揮に大きな期待が寄せられております。反面、組合を取り巻く情勢は依然と厳しく、森林整備業務に札制度が導入されたことによる、事業量の減少、利益率の低下等で組合運営が益々厳しさをまわしております。

事業部門別に見ますと、物産センター「ねんりん」については、中越地震の影響をまともに受け、売上が激減し計画対比83%となり、誠に不本意な結果になりました。購買部門では、取扱高が計画比130%、利用部門では、冬期事業が計画比102%造林事業も計画を達成し、部門全体で106%の実績を上げることができました。

組合員の皆様、県、関係市町村及び関係指導機関の方々のご理解とご協力に対して心より感謝申し上げます。

貸借対照表

(平成17年2月28日現在) (単位千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金・預金	380,716	受託販売預り金	16,180
有価証券	19,658	買掛金	311
売掛・未収金	119,864	未払金	47,574
たな卸資産	2,294	前受金	24,964
その他	28,116	その他	8,269
流動資産合計	550,648	流動負債合計	97,298
有形固定資産	103,298	退職給与引当金	95,476
無形固定資産	11,706	その他	2,942
系統出資金等	16,570	資本の部	
その他固定資産	2,922	出資金	93,446
固定資産合計	134,496	法定準備金	150,000
繰延資産	29,996	資本準備金	583
		特別積立金	255,000
		当期末処分剰余金	20,395
		資本合計	519,424
資産合計	715,140	負債・資本合計	715,140

年の瀬迫る頃までまったく無かった降雪も、降り始めたらずままない。結果、二〇年ぶりと云われる大雪となりました。



お墓に倒れた被害木



架線による被害木の撤去作業



→ 斑尾高原除雪
↑ 志賀高原除雪



雪折れ被害も例年よりも多かつたようです。

平成十六年度 北信州森林組合 「決算報告」
(平成十六年三月一日〜平成十七年二月二十八日)

20年ぶりの大雪だそうです。

異動職員よりごあいさつ



木島平支所
小出 幸子

初夏を迎えるこれからの季節、木島平支所では、カヤの平ロジ・キャンプ場の運営業務を行っております。また、林業資材等も各種取り扱っておりますので、是非ご利用ください。何かと至らない点もあるかと思いますが、ご指導いただければ幸いです。



業務課主事兼飯山支所
小澤 雅子

組合員の皆様、いつもお世話になっております。心癒される自然が、森林が大好きな間の小澤と申します。皆様の貴重な財産を育む事にこそだけ携わることができ、不慣れで何かとご面倒をおかけするかとありますが、よろしくご指導お願いいたします。

支所の紹介

中野支所



中野支所では、主として受託林産事業（搬出間伐）を行っておりますが、そのほかに市内の小学校や中学校の要請で総合学習のお手伝いをしていきます。京都議定書が発行され、ますます森林の役目が重要になっております。将来の森林を託すためにも、子どもたちに森林に関心を持つてもらえればと思います。学校、地域での総合学習に森林組合の経験と知識を活用していただければとおもいます。お気軽にご相談ください。（林業専門技術員資格者・林業士・「緑の循環」認証会議分別表示システム審査員資格者が居ります。）

豊田支所



四月一日市村合併で新庁舎名は中野市豊田支所となりました。当組合豊田支所は、経済課農政係に事務所を置き、従来どうり森林整備を主に運営しています。林内整理伐を含む間伐・除伐事業が中心で他に立木調査、細木・林業機械・苗木・豆炭等「なんでも」幅広く取り扱っておりますので、お問い合わせください。また、好評の薪割り機の貸し出しも行っていきますので、ぜひご利用ください。

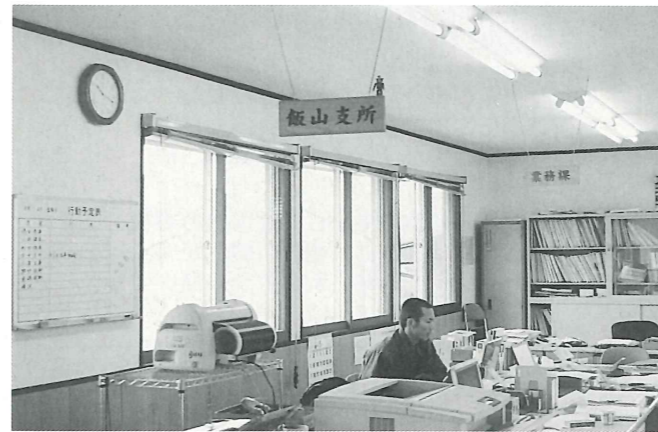
「自分の山、地域の山をきれいにしたい！」そんな思いの皆さんへのお知らせです！

森林居住環境整備事業のご案内

森林には、災害の防止・水源の涵養・自然環境の保全・地球温暖化の防止・レクリエーションや教育の場としての利用等の、多面にわたる機能の発揮が求められています。各市町村では、さらなる森林環境の改善を図る事を目的として、平成15年度から5年間（平成19年度まで）、補助事業である「森林居住環境整備事業」を導入し、森林所有者の皆さんのご協力を得ながら森林整備を進めてまいります。

組合員の皆さん！森林整備は今がチャンス！

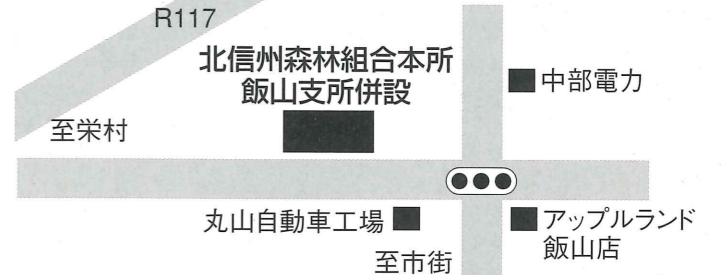
詳しくは、各支所までお問い合わせください。また、地区単位での説明会も希望に応じ開催しています。組合員の皆さんの積極的な参加をお願いします。



組合本所事務所内に併設することとなりました。

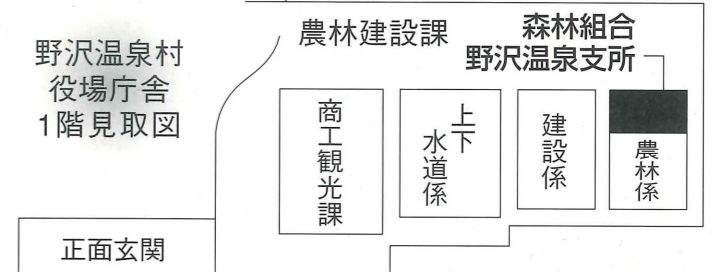
至豊田村

飯山支所が移転



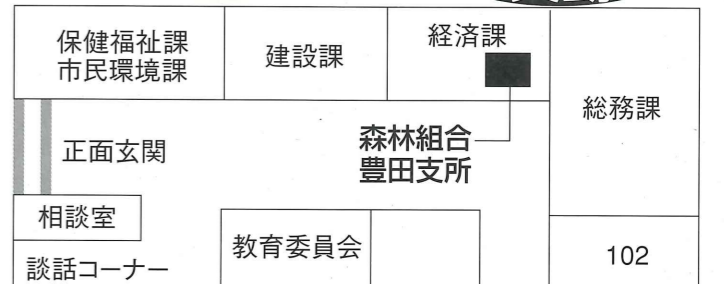
村民ホール
階段

野沢温泉支所が異動



中野市豊田支所庁舎
1階見取図

豊田支所が異動



安全対策の実施



毎朝のミーティング



講師による安全教育

組合では、日ごろから各支所ごとのミーティングの他、講師を招いて現地での安全教育などの実施を行っています。